

第 94 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 5 月 17 日(月) 10：30～11：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ 酒類の提供自粛要請（案）及び緊急事態宣言の対象地域への追加要請（案）について、県内経済団体及び感染症専門家の意見を聴取することを確認した。
- ◇ 県内経済関係団体及び感染症専門家の意見を確認後、改めて沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、酒類の提供自粛要請及び緊急事態宣言の対象地域への追加要請について判断することを確認した。

<その他>

- ◇ 新型コロナウイルス感染症対策強化に向けた組織体制の強化について本部員から報告があった。
- ◇ 大規模接種会場の設置について本部員から報告があった。
- ◇ 宿泊療養施設の設置について本部員から報告があった。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症対策の検証に向けたアンケートの実施について本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、系数 保健衛生統括監、木村 宮古兼八重山保健所長（TV 会議システム参加）

2 報告事項

（1） 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 5/16 の新規発生は 78 名、合計 13,859 名、入院中 423 名、うち重症 10 名、うち中等症 200 名、入院調整中 289 名、宿泊施設療養中 197 名、自宅療養 569 名で療養中患者計 1,478 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

- ✓ 5/15 時点、米軍基地内で 4 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-8】

➤ 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。

- ✓ 療養者数、病床占有率、新規感染者数はいずれも第 4 段階にあり、引き続き感染まん延期にある。
- ✓ 重症者用病床占有率、感染経路不明な症例の割合は、第 3 段階にある。
- ✓ 非コロナ病床（一般病床）の利用率は 92.3%となっている。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は、54.84 であり、全国平均よりも高い状況が続いている。
- ✓ 各保健所管内の新規感染者数比較について、那覇、北部、中部、南部、八重山の各保健所管内において、先週よりも新規発生者数が増加している。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は、13.9%となっている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

➤ 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。

- ✓ 那覇市は 2 カ所が稼働しており、リゾネックス那覇で 42 人、東横イン旭橋駅前で 102 人が療養している。
- ✓ 他の地域については、北部で 13 人、宮古で 13 人、八重山で 27 人が療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】

➤ 総括情報部から、KDDI Location Analyzer による分析結果を報告。

- ✓ 繁華街エリア、商業エリアの人流について、前週よりも減少。
- ✓ 空港エリアの人流については、前週よりも増加。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの発生状況等について報告。
 - ✓ 最近では、社会福祉施設、飲食店等でのクラスター発生が確認されている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古では5月以降、1桁台の感染者数で推移しており、落ち着いてきている。
 - ✓ 八重山は連休以降、感染者発生数が10名を超える日もあり、宿泊療養者施設の入居者も増えてきていることから、自宅療養の検討が必要な状況である。

(報告事項)

- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 本日時点県立病院で入院患者を88名受け入れており、5月9日から28名の増加。
 - ✓ 県立病院のコロナ病床の稼働率は50.3%となっている。

南部医療センターで一般病棟の入院制限を行い、再来週からは外科医も発熱外来に加わる。宮古病院は病床がひっ迫していたが、少しずつ改善してきている。患者増がなければ、手術や内視鏡検査の制限解除を行う。八重山病院では、手術や検査は緊急以外延期し、一般外来は通常通りとしている。精和病院の病棟は特に問題ない。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。

- ✓ 5/10の週は、計165件の検査を実施し、そのうちN501Yの割合は53.33%であった。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料8】

- 総括情報部から、医療従事者向け進捗状況と、住民向け進捗状況について報告。
 - ✓ 医療従事者向けのワクチンは、5月14日時点の接種は62,792回が終了。
 - ✓ 医療従事者向けのワクチンは5月中に1回目の接種が完了する見込み。
 - ✓ 高齢者向けのワクチンについては、6月中に沖縄県高齢者人口332,310人の約110%分が納入される予定である。
 - ✓ 高齢者向けのワクチンについては、32市町村で7月中に、9市町村で8月から9月中に接種が完了する見込み。
 - ✓ 大規模接種会場について、場所、運営方法、設置の時期等について検討中。

(10) PCR検査事業の状況について【資料9】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ 安価なPCR検査補助の実績について、先週(5/7~5/14)は4,001人が受検した結果、陽性者98人、陽性率2.45%であった。
 - ✓ PCR検査強化事業(介護従事者対象)について、これまでに8,549人が受検し、陽性者3人であった。

(11) NAPP・TACO・RICCAの運用状況等について

- 文化観光スポーツ部から、NAPP・TACO・RICCAの状況について報告について報告。
 - ✓ NAPPについて、5/10の週の受験者は760名で、その内2名が陽性であった。
 - ✓ TACOについて、5/10の週のサーモグラフィー通過者は85,234人、その内問診に繋いだ事例が1件あった。

- ✓ RICCA について、5/17 時点の登録者数は 93,881 人となっている。

(12) その他ワクチン関連の報告について

- 総括情報部から、豊見城市・浦添市で発生したワクチン関連の事故等について報告。
 - ✓ 豊見城市において、ワクチンを保管していた冷蔵庫が開いたままになっていたため、ワクチンを廃棄処分にした事例があった。
 - ✓ 浦添市の集団接種において、誤って生理食塩水を接種する事故が発生している。本件については専門家にも相談の上、対応案等について浦添市に情報提供を行う予定である。

((1) ~ (12) の報告についての主な発言)

- ✓ 八重山地域の宿泊療養施設がひっ迫しつつあるとのことだが、追加の宿泊療養施設の設置について検討する必要との意見あり。
 - 総括情報部より、八重山地域についても追加の宿泊料用施設の設置について検討すると回答。
- ✓ ワクチン接種について、市町村ごとのワクチン接種状況について HP 等で公表してはどうかとの意見あり。
 - 総括情報部より、市町村ごとのワクチン接種状況の公表方法・内容等について、現在検討中と回答。

3 議題

(1) 酒類の提供自粛について【議題 1~1-6】

- 総括情報部から、酒類の提供自粛について説明
 - ✓ 県内では大型連休の影響のため、新規感染者数が急増してきている。

- ✓ 療養者に占める年代別の割合では、10代～50代の年齢層の割合が増えている。
- ✓ 飲食関係での感染者数は、これまで減少傾向にあったが、連休終了後、増加に転じている。
- ✓ 県内の感染状況を鑑み、まん延防止等重点措置の更なる強化として、国の基本的対処方針に基づく重点措置区域内の飲食店に対する酒類の提供自粛（利用者による酒類の持ち込みを含む）要請について、検討する必要がある。
- ✓ 対象地域は、まん延防止等重点措置の措置区域である11市5町。
- ✓ 酒類提供自粛要請の期間は、5/20（木）～5/31（月）とする。
- ✓ 飲食店に対する酒類提供自粛要請に伴い、酒類販売事業者に対する国の財政的支援策が受けられるよう調整を行う。

（2）緊急事態宣言の対象地域への追加要請について【議題2, 2-1】

- 総括情報部から、緊急事態宣言対象地域への追加要請について説明
 - ✓ 県の警戒レベル判断指標については、7つの指標のうち、3つの指標（療養者数、病床占有率、新規感染者数）が第4段階となっている。
 - ✓ 国の判断指標においては、7つの指標のうち、4つの指標（療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数）がステージⅣとなっている。
 - ✓ 県内では新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しており、直近1週間における人口10万人あたりの新規感染者数は、全国ワースト5位（54.84）となっている。
 - ✓ 県内では、入院者400人以上、自宅療養者500人以上となっており、医療提供体制がひっ迫してきている。
 - ✓ 国の基本的対処方針において、緊急事態宣言については、「国内での感染拡大及び医療提供体制・公衆衛生体制のひっ迫状況を踏まえて、全国的かつ急

速なまん延により、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすか否か」を、分科会の意見を踏まえた上、政府対策本部長が総合的に判断するとされている。

- ✓ 以上の状況から、急速な感染拡大を抑え込み、ひっ迫した医療体制の負担を早期に改善する必要があることから、特定都道府県（緊急事態宣言対象地域）への追加要請について検討する必要がある。
- ✓ 緊急事態宣言となった場合、区域は沖縄県全域となる。
- ✓ 飲食店に対する要請について、まん延防止等重点措置では営業時間の短縮要請（特措法第 31 条の 6）であったが、緊急事態宣言では休業要請（特措法第 45 条第 2 項）が可能となる。
- ✓ イベント等の開催の開催制限について、まん延防止等重点措置では上限 5 千人の制限であったが、緊急事態宣言では、上限 5 千人かつ収容率 50%以内となる。

（議題（1）及び（2）についての主な発言）

- ✓ 酒類の提供自粛要請（案）及び緊急事態宣言の追加要請（案）について、県内経済団体及び専門家会議の意見を確認すべきとの意見あり。
→総括情報部及び商工労働部より、本日（5/17）の午後に酒類の提供自粛要請及び緊急事態宣言の追加要請並びに支援策等について、県内経済関連団体会議及び専門家会議を実施し、意見交換を行う予定であることを報告。
- ✓ 本会議で検討した内容について、県内経済関連団体及び感染症専門家の意見を確認した後に、酒類の提供自粛要請及び緊急事態宣言の追加要請の可否を判断とすることでよいか質問あり。
→知事より、県内経済関連団体及び感染症専門家の意見を確認した後に、改

めて沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、県としての方針を決定すると回答。

- ✓ 先行して緊急事態宣言が出されている大阪府では、イベント等の開催制限について、国が示す対処方針よりも強い制限を課しているが、本県も同様の対応をとなるか質問あり。

→総括情報部より、財政措置の面で厳しいこともあるため、国が示す対処方針に沿った対応とすると回答。

- ✓ 緊急事態宣言の対象区域となった場合の学校行事・体育大会等の対応について質問あり。

→教育長より、インターハイ等の大会についてガイドラインを策定し、大会運営を進めることとなっていること、参加する児童生徒については、大会2週間前からの健康管理、大会後の健康観察を実施することを報告。

- ✓ 文化観光スポーツ部より、緊急事態宣言に伴いイベント等の開催制限が実施された場合、県内プロスポーツイベント等に大きな影響を与える可能性があることから、事前説明、意見聴取を実施することを報告。

- ✓ 緊急事態宣言の期間について質問あり。

→総括情報部より、緊急事態宣言が先行して発出された地域の実施期限である5/31が目安となるが、全国状況によっては国が延長の判断をする可能性があることを説明。

- 最後に議題（1）酒類の提供自粛及び（2）緊急事態宣言の対象地域への追加要請について次のとおり確認した。

- ✓ 酒類の提供自粛要請に伴う沖縄県対処方針変更（案）及び、緊急事態宣言の対象地域への追加要請検討（案）について、県内経済関係団体及び感染症専門家の意見を確認する。

- ✓ 県内経済関係団体及び感染症専門家の意見を確認後、改めて沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、酒類の提供自粛要請及び緊急事態宣言の対象地域のへの追加要請について判断する。

4 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策強化に向けた組織体制の強化について

- 総括情報部から、新型コロナウイルス感染症対策強化に向けた組織体制の強化について報告。
- ✓ 令和3年5月14日付けで、ワクチン接種等戦略課及び感染防止経営支援課が設置された。
- ✓ ワクチン接種等戦略課は、これまで感染症対策課が所管してきた業務のうち、ワクチン接種に関する業務を実施する。
- ✓ 感染防止経営支援課は、大規模施設等に対する協力金の支給等の事務について対応する。

(2) 大規模接種会場の設置について

- 総括情報部から、ワクチンの大規模接種会場の設置について報告。
- ✓ 高齢者のワクチン接種については、各市町村が7月中に完了できるよう準備中であるが、医師、看護師の確保等の課題があることから、一部の市町村で7月中の完了の目処がついていない状況である。
- ✓ そこで、県において大規模のワクチン接種会場を設置し、高齢者へのワクチン接種を進めることを検討している。
- ✓ 接種の会場は中部及び南部に1箇所ずつ（計2箇所）の予定。
- ✓ 接種開始は6月中旬を予定。

(3) 宿泊療養施設の公募開始について

- 総括情報部から、宿泊療養施設の公募について報告。
 - ✓ 本島中南部に設置する宿泊療養施設について公募を開始した。
 - ✓ 公募期間は、5/17～5/31。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策の検証に向けたアンケートの実施について

- 企画部から、新型コロナウイルス感染症対策の検証に向けたアンケートの実施について報告。
 - ✓ 今後の感染症対策の参考とすることを目的とする。
 - ✓ これまで県が実施してきた感染症対策、経済対策の効果、課題等について市町村・各種団体に対しアンケート調査を実施する。

5 閉 会